



常任

委員会からののお知らせ



各常任委員会では研究テーマを決め、先進地の視察で行った調査・研究等を参考に提言書として市長に提出しています。今回はその研究テーマについてお知らせします。

常任委員会とは？

地方自治法第109条に基づいて設置された委員会です。知立市議会では分野別に4常任委員会（企画文教委員会、市民福祉委員会、建設水道委員会、予算・決算委員会）が設置され、所管する議案や請願などを審査します。

企画文教委員会

研究
テーマ

図書館事業の充実

知立市図書館は、昭和62年10月に開館。そもそも図書館とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般大衆の利用に供し、その教養調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設とされています。

現在、知立市図書館は、読書機会の充実、または電子化などといった読書に関わりやすい環境づくりを推進しています。今後、知立駅周辺整備といった動向を踏まえ、図書館に人々が集まり、交流できる空間を提供し、シビックプライドの向上に役立てる施策の充実を図るべきと考え、テーマとしました。

※シビックプライド…地域や都市への住民の誇りや愛着を指す概念。



知立市図書館(南新地)

市民福祉委員会

研究
テーマ

高齢者が健康で安心して生活できる 地域共生社会の実現

知立市でも少子高齢化が進み、高齢者の増加により孤独・孤立、医療や介護の負担、空き家問題などが深刻化しています。特に「社会的つながりの喪失」がもたらすリスクは無視できません。

家族形態や地域のつながりが変化の中で、高齢者が一人で生きる傾向が強まり、このままでは孤独死や認知症の進行、社会保障費の増加などが懸念されます。「高齢者が健康で安心して生活できる地域共生社会の実現」は、少子高齢化対策の根幹であり、行政・地域・個人が連携して取り組むべき重要課題をテーマとしました。



建設水道委員会

研究
テーマ

AIを活用した水道管路管理の高度化と デジタル技術による水道事業のDX推進

水道事業は、安全で安定した水の供給を確保するために不可欠な社会インフラであり、老朽化する設備の更新・維持管理の効率化が喫緊の課題となっています。

建設水道委員会では、AIを活用した水道管路の劣化予測や修繕計画の最適化、市民からの情報提供を促すデジタルツールの導入を通じて、水道事業のDXを推進し、経済的・環境的に持続可能な水道インフラの構築を目指し、テーマとしました。



知立市水道事業
キャラクター
みずっち